
目 次

(1) 目次	1
(2) ごあいさつ	2
(3) NPO埼玉教育ネットとは	3
(4) 会場の回り方	4
(5) 高校ランキングー 表題/近隣	5
高校ランキングー 埼玉私立	6
高校ランキングー 埼玉県立	7
(6) 参加校（越谷・春日部）	8
(7) 令和元年度埼玉県高校入試の動向（表紙）	9
と令和2年度入試展望		



saitamakyouikunet

ごあいさつ

令和元年10月14日



受験生・中学生のみなさん。

本日は、ご来場いただきまして、ありがとうございます。

また、会の開催にご協力いただいた先生方をはじめ、ご協力いただいた皆様方に心より感謝申し上げます。

この進学相談会は、地域の中学生、特に中3の受験生のみなさんの高校受験にむけて、受験に必要な情報をご提供し、志望校を決めていただくためにボランティア活動として開催しているものです。NPOとして、公平かつ正確な入試情報を無料でご提供させていただくための活動です。特色として教育委員会の後援をいただいて、県立高校も合わせた大きな規模の進学相談会となっている点です。お蔭様で、本年度の学校の参加数は92校です。どうか、この機会をおおいに生かして、ひとつでも多くの学校の説明を聞いていてください。皆さんは、この時期では、まだ志望校を確定していないでしょう。自分にあった学校を選ぶために、今日は学校を一校に絞らず、いくつもの学校の説明を聞いて比べてみてください。学校を比較し何が違うのか探して、自分にはどちらの方が合うのかを真剣に検討する事は、進路を具体化してゆくためにも大変参考になるはずです。

なお、主催者のスタッフが、「受験ナビ」のプレートをつけ、会場内で質問や相談にのっています。どんな学校を回ったら良いかなど、お気軽にご質問ください。

さて、みなさんは、入試という、人生で初めての大きな勝負の場に立ちます。どうか自分の夢を各々をもって、これにチャレンジしてください。希望校に合格する事も大事ですが、最も大切な事は、皆さんがチャンスをつかもうとチャレンジする事です。受験をきっかけに、これからは、常に自分を磨き、努力し、他人の助けとなれるような人間になってください。あなたの幸せが必ずそこに待っています。大きく成長してゆくあなた方が、私達スタッフの夢であり、希望です。

みなさんの合格を、スタッフ一同、心から願っています。 がんばれ、みんな！！

NPO 埼玉教育ネット 理事長 野口繁一

主催団体

NPO埼玉教育ネットとは

設立 平成18年 2006年7月1日 2006.7.18 県知事認証

埼玉県の東部を中心に教育ボランティア事業を展開しています。当会の目的は、地域社会への貢献をはかり、健全な入試活動および教育全般の育成発展に寄与することです。

おもな活動事業は、この『入試ファースト』と『入試情報フォーラム』です。『入試ファースト』は、高等学校の先生のご協力をえて、個別の進学相談会として例年延べ人数8,000人以上の受験生の参加をいただいています。現在越谷と春日部の2会場開催です。

また『入試情報フォーラム』は、高校入試担当者その他教育関係者を対象に、毎年、5月に浦和で入試分析の総括と次年度の予想をテーマに、高校の先生方を対象に定例開催しています。

(東京オリンピックの開催にともない、次年度、他の進学相談会が相次いで中止となってしまいました。)

この状況を少しでも改善するために入試ファースト浦和を(7/12浦和コルソで予定しています。)

主な年間活動内容

■ 例会および研修会 年5回 ■ 研修大会 年1回

4月. 6月. 10月. 12月. 2月

■ 6月 埼玉入試情報フォーラム

○趣旨

おもに埼玉の公立私立の高等学校の先生および学習塾その他教育関係者を対象としまして、前年度の入試動向の総括を講演し、さらに新年度に予想される変更事項を予測・分析しております。おかげさまで入試関係者には恒例の講演会として定着しておりまして好評を得ております。例年500名ほどの参加者をいただき、メイン講演者は教育研究所の岩佐氏にお願いしております。



■ 10月 入試ファースト

越谷 春日部
浦和 和 (7月12日)

○趣旨

埼玉の各進学相談会の中で、7月アリーナの進学相談会の後、さらに具体的な学校選択の地区版として位置することを目指します。特に講演者をおいて、わかりやすい入試情報会を併設し、この時期に必要な志望校具体化の情報を網羅します。秋からはじまる本格的な各校での学校説明会・個別説明会への橋渡しとしての役割を担って参ります。

越谷市教育委員会後援 春日部市教育委員会後援



入試ファーストの歩き方

入退場自由

説明を聞きたい学校のところで、
列の最後尾に並んでお待ちください。

最初に受付で、MAPと「合格ガイド」(本誌)をもらってください。

参加校が多いので、まずはMAPで、面談したい学校の場所を確認しましょう。せっかく一堂に学校がならんでいる機会なので、必ず複数校を訪問してください。

12:00~16:00

個別相談会開始…



人気校は、長い列ができるので、はじめに並んでおくほうがよいでしょう。ただし、時間切れもあるので、人気校を後回しにして、本命でない学校を先にしておく作戦もいい回り方になります。むしろ多くの学校を回ることができるからです。労を惜しまずたくさん訪問してください。

気軽に質問してください。

「受験ナビ」

どうしたらいいの？
どんな風に回るの？



なお、「受験ナビゲーター」の名札を付けたスタッフは、受付付近をベースに会場を巡回しています。いずれも受験のプロフェッショナルです。公立私立を問わず、学校選びの相談にもものってくれます。また会場の回り方のアドバイスもいたします。多いにご活用ください。

2019年度 高校ランキング一覧表

※資料提供：12会場テスト

目次

1. 私立校（隣接地域）
2. 埼玉私立校（東部）
（さいたま市）
（西部）
（北部）
3. 埼玉県立校（東部）
（さいたま市）
（西部）
（北部）



※ 取り扱い上の注意

この資料は、首都圏を中心に各学年6,000人が受験する『12（ワンツー）会場テスト』のデータをもとに作成しています。あくまでも当該テストの受験生の資料であって、学校が提示するデータとは一致しません。受験校を選ぶには、直接担当の先生とよく相談をしてください。

注意：当データには専属権があり、無断転載および使用はできません。このたびは受験生の参考資料として掲載しています。

1. 私立校（隣接地域）

SS	合格圏70%	東京都私立高校ランキング（抜粋）
74	開成（普通）	
72	慶應義塾女子（普通）	
71		
70	早稲田高等学院（普通）	豊島岡女子学園（普通）
69		
68	青山学院（普通・女）	
67		
66	広尾学園（医進S）	
65	広尾学園（本科）	巣鴨（普通） 青山学院（普通・男） 中央大学（普通） 中央大学杉並（普通）
64	順天（特進S）	本郷（普通） 國學院大学久我山（理系）
63	淑徳巣鴨（7A7B7C）	駒込（理系） 明治大学付属中野（普通）
62	淑徳巣鴨（7A7B7C）	京華（S特進） 駒込（国際） 順天（特進） 江戸川女子（III類）
61	学習院（普通）	駒込（S7D7E7F） 順天（英語） 東洋（特進） 東京都市大学等々力（特進）
60	明治学院（普通・男）	
59	東洋（特進）	順天（特進）
58	成立学園（S特進）	足立学園（文理） 江戸川女子（II類）
57	駒込（7D7E7F）	淑徳巣鴨（特進） 文京学院大学女子（理数AD） 京華女子（特進）
57	東京家政大学附属女子（躍進i E）	東洋（総進） 武蔵野大学附属千代田高等学院（I'加L7）
56	十文字（進学）	日本大学豊山（特進） 京華（特進） 文京学院大学女子（国際AD）
55	東洋女子（特進）	東洋大学京北（普通）
55	星美学園（II類）	岩倉（S特進） 上野学園（特進α） 共栄学園（特進）
55	千代田女子学園（特進）	二松学舎大学附属（特進） 東京女子学園（特進） 立正大学付属立正（特進）
55	朋優学院（進学）	文教大学付属（普通） 武蔵野大学附属千代田高等学院（文理探究）
54	淑徳巣鴨（特進私文）	駒込（7D7E7F本科） 滝野川女子学園（特進）
53	東京家政大学附属女子（躍進i）	日本大学第一（普通）
53	北豊島（特進）	修徳（特進）
53	東京家政学院（7D7E7F）	麹町学園女子（東洋大グループ） 東京（普通）
52	村田女子（グローバルR）	駿台学園（特進） 足立学園（普通） 武蔵野大学附属千代田高等学院（I'加L7）
51	日本大学豊山（進学）	潤徳女子（特進） 文京学院大学女子（理数ST・国際ST）
50	上野学園（特進β）	武蔵野大学附属千代田高等学院（7D7E7F） 星美学園（I類） 村田女子（S特進）
49	二松学舎大学附属（進学）	岩倉（特進） 成立学園（特進）
48	修徳（選抜）	正則（普通） 滝野川女子学園（特進） 村田女子（特進）
47	共栄学園（進学）	東洋女子（総進） 武蔵野大学附属千代田高等学院（I'加L7）
46	駿台学園（進学）	
45	岩倉（運輸）	上野学園（総進）
44	岩倉（総進）	上野学園（音楽） 品川エトワール女子（国際C）
43	東京実業（IT）	貞静学園（総進） 自由ヶ丘学園（選抜進学） 国本女子（普通）
42	正則学園（普通・男）	東京実業（文理） 品川エトワール女子（I'加L7）
41	小野学園女子（進学）	日出（進学） 日本女子体育大学二階堂（総進）
40	日本女子体育大学二階堂（保健福祉）	日本体育大学往原（総合）
39	神田学園（7A7B7C）	東京実業（E7F） 浦田女子（幼児・保育・7A7B）
38	成女（普通）	堀越（普通） 大森学園（工業） 東京実業（機械・電気） 日本音楽（幼児教育）
37	中央学院中央（商業）	品川エトワール女子（一般） 自由ヶ丘学園（総合進学） 淑徳SC（IIb）
36	安部学院（商業）	

SS	合格圏70%	千葉県・茨城県私立高校ランキング（抜粋）
73		
72	渋谷教育学園幕張（普通）	
71	市川（普通）	
70	東邦大学付東邦（普通・帰国生のみ）	
69		
68	江戸川取手（普通・医科）	
67	江戸川取手（普通）	土浦日本大学（普通・SH）
66	専修大学松戸（普通・E類）	常総学院（普通・医学部理系選抜）
65		
64	芝浦工業大学柏（普通）	日本大学習志野（普通）
64	麗澤（普通・S特進）	土浦日本大学（普通・GS）
62	専修大学松戸（普通・A類）	流通経済大学付柏（普通・III類） 土浦日本大学（普通・特進）
61	東京学館浦安（普通・特進）	つくば秀英（普通・特進S）
60	麗澤（普通・特進）	二松学舎大学付柏（普通・S特進） 東洋大学牛久（普通・特進）
59	和洋国府台女子（普通・特進）	
58	千葉商科大付（普通・特進）	聖徳大学附女子（普通・特進） 流通経済大学付柏（普通・II類）
	西武台千葉（普通・特進）	常総学院（普通・特進α）
57	流通経済大学付柏（普通・I類）	千葉日本大学第一（普通）
	昭和学院（普通・特進）	二松学舎大学付柏（普通・特進） 中央学院（普通・S特進）
56	土浦日本大学（普通・進学）	
55	東海大学付浦安（普通）	東京学館浦安（普通・特進）
54	東洋大学牛久（普通・進学）	
53	千葉商科大付（普通・選抜）	日本体育大学柏（普通・7D7E7F）
52	和洋国府台女子（普通・進学）	東京学館浦安（普通・国際教養）
51	昭和学院（普通・総進）	
50	千葉商科大付（普通・進学）	専修大学松戸（普通・S類） 二松学舎大学付柏（普通・進学）
49	聖徳大学附女子（音楽）	西武台千葉（普通・進学） 中央学院（普通・進学）
	つくば秀英（普通・AB）	
48	聖徳大学附女子（普通・進学）	東洋大学牛久（普通・7D7E7F） 常総学院（普通・特進β）
47	和洋国府台女子（7A7B）	
46	千葉商科大付（商業）	東京学館浦安（普通・総進）
44	日本体育大学柏（普通・進学）	土浦日本大学（普通・7A7B）
44	我孫子二階堂（普通・進学）	東洋大学牛久（普通・7A7B） つくば秀英（普通・進学7A7B）
43		
42	西武台千葉（普通・7A7B）	
41	東京学館船橋（普通）	
40	東京学館船橋（情報処理・食物調理・美術工芸）	
39	我孫子二階堂（普通・総合）	
38	東京学館浦安（普通・7A7B）	日本体育大学柏（普通・7A7B） 中央学院（普通・7A7B）
37		
36		

SS	合格圏70%	栃木県私立高校ランキング
72		
71		
70		
69		
68		
67	作新学院（7A7B 英進S I）	
66	宇都宮短附（特別選抜）	佐野日大（特別進学α）
65	作新学院（7A7B 英進S II）	宇都宮海星女（特別選抜） 國學院栃木（特別選抜S）
64	佐野日大（特別進学SS）	
63		
62	佐野日大（特別進学）	
61		
60	白鷗大足利（特別進学）	
59	宇都宮短附（特進）	作新学院（英進選抜）
58	文星芸術大附（英進・共学）	宇都宮文星女（秀英特進）
57	國學院栃木（特別選抜）	
56		
55	佐野日大（SPA-進学）	
54	作新学院（英進）	宇都宮文星女（英語留学） 佐野日大（進学・併願）
53	白鷗大足利（進学・併願）	
52		
51	宇都宮短大附（進学）	矢板中央（特進）
	宇都宮短附（音楽）	宇都宮海星女（進学） 國學院栃木（選抜）
50	白鷗大足利（普通・特待）	足短大附（特進）
	作新学院（総進・特別進学）	文星芸術大（進学） 佐野日大（進学・推薦）
49	白鷗大足利（文理・併願）	
48	國學院栃木（7D7E7F）	白鷗大足利（進学・推薦）
47	足利大学附（特進）	
46		
45	宇都宮短附（応用物理）	白鷗大足利（文理・推薦）
44	國學院栃木（文理）	
	作新学院（総進・進学）	宇都宮文星女（IT） 宇都宮短大附（調理） 宇都宮短附（情報商業）
43	足利大学附（普通・併願）	
42	宇都宮文星女（美術デザイン）	青藍泰斗（普通・併願）
41	宇都宮文星女（普通）	宇都宮短附（生活教養） 足利大学附（情報処理・推薦・併願）
	足短大附（進学・推薦・併願）	足短大附（教養福祉・併願）
40	作新学院（情報・美術デザイン）	
	作新学院（情報・商業7A7B）	作新学院（情報・電気電子） 作新学院（情報・7A7B）
39	文星芸術大（普通・美術）	白鷗大足利（総合進学・併願） 足利大学附（普通・推薦）
	青藍泰斗（総合7A7B）	総合生活・併願） 足利大学附（自動車・工業科・併願）
	作新学院（情報・自動車）	作新学院（情報・総合選択） 文星芸術大（普通・総合）
38	宇都宮文星女（7A7B7C）	白鷗大足利（総合・推薦） 青藍泰斗（普通・推薦）
37	文星芸術大（総合7A7B）	佐野清澄（普通） 矢板中央（普通7A7B）
36	足短大附（福祉教養・推薦）	
35	足利大学附（自動車・推薦）	足工大附（工業科・推薦） 青藍泰斗（総合7A7B）
	青藍泰斗（総合生活・推薦）	
34	佐野清澄（生活7A7B）	佐野清澄（食物調理）
33	矢板中央（7A7B）	
32		
31		

2. 埼玉私立校

2019年度 高校ランキング一覧表

SS	合格圏70%	埼玉県私立高校ランキング (東部地区)
73		
72		
71		
70		
69		
68		
67		
66	昌平 (T特選)	
65	春日部共栄 (選抜)	
64		
63	開智未来 (T未来)	
62	栄北 (特選) 昌平 (特選) 獨協埼玉 (普通)	
61	春日部共栄 (特進E系) 叡明 (特進選抜)	
60	栄北 (特選選抜) 昌平 (特進アソート)	
59	開智未来 (S未来) 昌平 (特進)	
58	春日部共栄 (特進S系) 花咲徳栄 (α理数選抜・α特別選抜) 叡明 (特進I類)	
57	栄北 (特選)	
56	開智未来 (開智) 昌平 (選抜アソート・選抜75入) 国際学院 (アドバンス) 叡明 (特進II類)	
55	花咲徳栄 (α文理選抜) 栄北 (II類) 叡明 (進学I類)	
54		
53	栄北 (I類) 叡明 (進学II類)	
52	花咲徳栄 (AD選抜進学)	
51	国際学院 (トレト) 叡明 (進学III類)	
50	花咲徳栄 (AD特別選抜) 花咲徳栄 (食育実践)	
49		
48		
47	花咲徳栄 (AD総合進学)	
46	国際学院 (選抜進学) 国際学院 (食物調理)	
45		
44		
43		
42		
41	国際学院 (進学)	
40		
39		
38		
37		
36		

SS	合格圏70%	埼玉県私立高校ランキング (さいたま市周辺)
73		
72		
71		
70	栄東 (東・医)	
69		
68	栄東 (フルマー) 開智 (Tコース)	
67		
66	大宮開成 (特選・先進) 開智 (Sコース) 淑徳与野 (選抜A)	
65	淑徳与野 (選抜B)	
64	淑徳与野 (選抜C)	
63	浦和麗明 (特選I類) 武南 (特進) 開智 (Dコース) 淑徳与野 (文理) 埼玉栄 (α)	
62	大宮開成 (特選I類) 浦和学院 (T特)	
61	淑徳与野 (MS) 浦和麗明 (特選II類)	
60	浦和ルーテル (普通) 大宮開成 (特選II類)	
59	武南 (選抜)	
58	浦和麗明 (特選III類) 浦和実業 (特進選抜) 浦和学院 (S特)	
57	埼玉栄 (特進S) 浦和学院 (グローバル) 浦和学院 (特進) 大宮開成 (特進S)	
56	浦和麗明 (特進I類) 浦和実業 (特進)	
55		
54	武南 (進学)	
53	浦和麗明 (特進II類) 埼玉栄 (特進) 浦和実業 (選抜α)	
52	浦和学院 (文理選抜) 浦和学院 (文理進学)	
51	浦和実業 (選抜)	
50		
49		
48	浦和実業 (進学) 浦和学院 (保健医療)	
47	浦和学院 (アート) 埼玉栄 (保健体育)	
46		
45	浦和学院 (総合進学)	
44	秀明英光 (特別進学) 浦和実業 (総合進学) 浦和実業 (情報進学)	
43		
42	秀明英光 (国際英語)	
41		
40	秀明英光 (総合進学)	
39		
38		
37		
36		

SS	合格圏70%	埼玉県私立高校ランキング (西部地区)
73		
72		
71	慶応志木 (普通)	
70		
69		
68	立教新座 (普通) 秀明 (難関国公立)	
67		
66	川越東 (理数) 西部文理 (I/T選抜・東大)	
65	星野 (III類) 星野 (共学部・S類) 狭山ヶ丘 (最難関国立)	
64		
63	川越東 (普通) 城北埼玉 (普通) 大妻嵐山 (SASS)	
62	西武文理 (理数) 秀明 (医学部) 城西大川越 (特選) 狭山ヶ丘 (難関国立私立)	
61	大妻嵐山 (SA) 聖望学園 (S特) 山村学園 (特進SA) 細田学園 (特進)	
60	西武学園文理 (普通) 西武学園文理 (英語)	
59	城西大川越 (特進) 星野 (II類) 星野 (共学部・α選抜) 狭山ヶ丘 (特別進学) 西武台 (特進S)	
58	山村学園 (特進文理) 埼玉平成 (特別選抜) 武蔵越生 (S特進) 聖望学園 (特選)	
57	東農大三 (Iコース) 細田学園 (選抜G)	
56	狭山ヶ丘 (総合進学)	
55	武蔵越生 (選抜I) 城西大川越 (進学) 秀明 (総合進学) 山村国際 (特進A) 秋草学園 (特選)	
54	星野 (I類) 星野 (共学部β) 山村学園 (総合・選抜) 西武台 (選抜I) 細田学園 (選抜L)	
53	聖望学園 (選抜) 東農大三 (IIコース)	
52	星野 (共学部・β) 埼玉平成 (特進I) 東農大三 (IIIコース) 細田学園 (進学α)	
51	山村国際 (特進B) 秋草学園 (進学選抜α・β) 武蔵越生 (選抜II) 大妻嵐山 (大妻G)	
50	山村学園 (総合・進学) 西武台 (選抜II)	
49	聖望学園 (総合) 埼玉平成 (特進II) 東野 (I特進コース) 細田学園 (進学β)	
48	西武台 (総合)	
47	山村国際 (普通)	
46	武蔵越生 (アソート) 西武台 (進学)	
45	秋草学園 (幼児保育) 西武台 (総合)	
44	埼玉平成 (進学) 東邦首大附東邦第二 (音楽) 武蔵野音大附 (音楽) 自由の森学園 (普通)	
43	東野 (特進コース) 秋草学園 (進学)	
42		
41		
40	東野 (進学コース)	
39		
38		
37		
36		

SS	合格圏70%	埼玉県私立高校ランキング (北部地区)
73	早稲田本庄 (普通)	
72		
71		
70		
69	早稲田本庄 (α選抜)	
68		
67		
66		
65		
64	本庄東 (特進選抜)	
63	本庄第一 (S類型)	
62		
61	正智深谷 (特別進学S)	
60		
59	本庄東 (特進)	
58	東京成徳深谷 (特進S)	
57		
56		
55	本庄東 (進学)	
54	本庄第一 (A I 類型) 正智深谷 (特別進学H)	
53		
52		
51	東京成徳深谷 (進学選抜)	
50		
49		
48	正智深谷 (総合進学I)	
47	本庄第一 (A II 類型)	
46		
45	東京成徳深谷 (進学)	
44	正智深谷 (総合進学P)	
43		
42		
41		
40		
39		
38		
37		
36		

3. 埼玉県立校

2019年度 高校ランキング一覧表

SS	合格圏70%	埼玉県公立高校ランキング (東部地区)
70		
69		
68		
67	春日部 (普通)	
66	越谷北 (理数)	
65	越谷北 (普通) 不動岡 (普通)	
64	不動岡 (外国語)	
63		
62		
61	越ヶ谷 (普通)	
60	春日部東 (普通)	
59		
58	春日部女子 (外国語)	
57	越谷南 (普通) 春日部女子 (普通) 春日部東 (人文)	
56		
55	越谷南 (外国語) 杉戸 (普通)	
54	草加 (普通)	
53		
52	越谷西 (普通) 越谷総合技術 (情報技術) 越谷総合技術 (食物調理)	
51	久喜 (普通) 久喜北陽 (総合)	
50	草加南 (外国語) 越谷総合技術 (情報処理) 羽生第一 (普通)	
49		
48	草加南 (普通)	
47	越谷総合技術 (電子機械・流通経済・服飾デザイン) 春日部工業 (電気) 久喜工業 (情報技術)	
46	草加東 (普通) 越谷東 (普通) 春日部工業 (機械)	
45	三郷北 (普通) 鷺宮 (普通)	
44	松伏 (音楽) 庄和 (普通) 杉戸農業 (生物生産技術) 三郷工業技術 (情報電子)	
43	松伏 (ビジネス) 春日部工業 (建築)	
42	吉川美南 (総合) 松伏 (普通) 白岡 (普通) 三郷工業技術 (電子機械・電気・情技) 久喜工 (電気)	
41	草加西 (普通) 誠和福祉 (総合・福祉) 羽生実業 (商業)	
40	八潮南 (情報処理) 杉戸農業 (食品流通) 久喜工業 (機械)	
39	八潮南 (商業) 宮代 (普通) 栗橋北彩 (普通) 杉戸農業 (園芸) 三郷工業技術 (機械) 羽生実業 (情報処理) 吹上秋桜 (総合I部)	
38	八潮 (普通) 八潮南 (普通) 三郷 (普通) 杉戸農業 (生活技術) 久喜工業 (工業化学) 幸手桜 (総合)	
37	蓮田松頭 (普通) 杉戸農業 (生物生産工学) 杉戸農業 (造園)	
36	久喜工業 (環境科学) 羽生実業 (農業経済)	
35	羽生実業 (園芸・ビジネス会計) 吹上秋桜 (総合II部)	
34	八潮 (体育)	
33		

SS	合格圏70%	埼玉県公立高校ランキング (さいたま市周辺)
73		
72	大宮 (理数)	
71	浦和 (普通)	
70	浦和第一女子 (普通) 大宮 (普通)	
69		
68		
67	さいたま市立浦和 (普通)	
66		
65	蕨 (普通)	
64	浦和西 (普通) 蕨 (外国語)	
63	川口市立 (理数)	
62	川口北 (普通) さいたま市立大宮北 (理数)	
61		
60	さいたま市立浦和南 (普通) 川口市立 (普通)	
59	さいたま市立大宮北 (普通) 伊奈学園総合 (普通)	
58		
57	浦和北 (普通) 与野 (普通) 常盤 (看護)	
56	大宮光陵 (普通)	
55	大宮光陵 (外国語) 大宮光陵 (音楽)	
54	南陵 (外国語) 大宮南 (普通)	
53	南陵 (普通) 大宮光陵 (美術) 川口市立 (文理スポーツ)	
52	川口 (普通) 浦和商业 (情報処理)	
51		
50		
49	浦和商业 (商業)	
48	浦和東 (普通) 岩槻 (普通)	
47	鳩ヶ谷 (普通) 岩槻 (国際文化) 大宮商業 (商業)	
46	大宮光陵 (書道) 浦和工業 (情報技術)	
45	大宮武蔵野 (普通) 大宮東 (普通) いずみ (生物系)	
44	川口東 (普通) 鳩ヶ谷 (情報処理)	
43	浦和工業 (機械)	
42	川口青陵 (普通) 鳩ヶ谷 (園芸デザイン) いずみ (環境系) 大宮工業 (建築) 岩槻商業 (情処)	
41	大宮東 (体育) 大宮工業 (電子機械) 岩槻商業 (商業)	
40		
39	大宮工業 (機械) 大宮工業 (電気)	
38	浦和工業 (電気)	
37	浦和工業 (設備システム) 川口工業 (機械)	
36	川口工業 (情報通信) 川口工業 (電気) 岩槻北陵 (普通)	

SS	合格圏70%	埼玉県公立高校ランキング (西部地区)
70		
69		
68		
67		
66	川越 (普通) 所沢北 (理数)	
65	川越女子 (普通)	
64	所沢北 (普通) 松山 (理数)	
63		
62	和光国際 (普通) 和光国際 (外国語)	
61	所沢 (普通)	
60		
59	松山 (普通)	
58	川越南 (普通)	
57	坂戸 (普通) 松山女子 (普通)	
56		
55	朝霞 (普通) 市立川越 (普通) 所沢西 (普通) 坂戸 (外国語) 新座総合技術 (食物調理)	
54	市立川越 (情報処理) 芸術総合 (美術)	
53		
52	朝霞西 (普通) 芸術総合 (映像技術)	
51	入間向陽 (普通) 新座総合技術 (情報技術)	
50	市立川越 (国際経済) 坂戸西 (普通) 新座総合技術 (デザイン) 狭山経済 (情報処理) 芸術総合 (音楽)	
49	豊岡 (普通) 川越工業 (電気)	
48	新座総合技術 (服飾デザイン) 芸術総合 (舞台芸術)	
47	川越西 (普通) 所沢中央 (普通) 新座総合技術 (総合ビジネス) 川越工業 (デザイン・機械)	
46	小川 (普通) 滑川総合 (総合)	
45	新座総合技術 (電子機械)	
44	川越工業 (建築・化学) 所沢商業 (情報処理) 狭山経済 (会計) 川越総合 (総合)	
43	志木 (普通) 所沢商業 (ビジネス会計) 狭山経済 (流通経済)	
42	新座柳瀬 (普通) 狭山清陵 (普通) 飯能 (普通) 所沢商業 (国際流通)	
41	狭山工業 (機械・電子機械) 狭山緑陽 (総合I部)	
40	ふじみ野 (普通) 越生 (美術)	
39	新座 (普通) 富士見 (普通) ふじみ野 (ｽｽﾞｰｸﾞｲﾝｽ) 鶴ヶ島清風 (普通) 飯能南 (普通)	
38	川越初雁 (普通) 狭山工業 (電気) 鳩山 (情報管理)	
37	和光 (普通) 飯能南 (ｽｽﾞｰｸﾞ) 鳩山 (普通)	
36	狭山緑陽 (総合II部) 鳩山 (普通)	
35	越生 (普通) 日高 (普通)	
34	日高 (情報)	
33		

SS	合格圏70%	埼玉県公立高校ランキング (北部地区)
70		
69		
68		
67		
66		
65	熊谷 (普通)	
64		
63	熊谷女子 (普通)	
62	熊谷西 (理数)	
61	熊谷西 (普通)	
60		
59	伊奈学園総合 (普通)	
58		
57	本庄 (普通)	
56	上尾 (普通)	
55	上尾 (商業)	
54		
53	秩父 (普通)	
52	深谷第一 (普通) 深谷商業 (情報処理)	
51	桶川 (普通)	
50		
49	鴻巣 (普通) 熊谷商業 (情報処理) 深谷商業 (商業)	
48		
47	鴻巣女子 (家政科学) 秩父農工化学 (ﾌﾗｲﾌﾞﾞﾗﾝｸﾞ・ﾌｰﾄﾞﾃﾞﾞﾞﾗﾝｸﾞ) 熊谷工業 (電気・情報技術) 熊谷商業 (商業)	
46	鴻巣女子 (保育) 深谷商業 (会計)	
45	鴻巣 (商業) 秩父農工化学 (食品化学・電気ｼｽﾃﾑ) 熊谷工業 (機械)	
44	熊谷工業 (建築) 進修館 (総合)	
43	上尾南 (普通) 上尾鷹の台 (単位制) 秩父農工化学 (機械ｼｽﾃﾑ) 深谷 (普通)	
42	熊谷農業 (食品科学)	
41	鴻巣女子 (普通) 本庄 (普通) 秩父農工化学 (森林科学) 寄居城北 (総合) 秩父農工化学 (農業) 児玉白楊 (機械) 熊谷農業 (生活技術・生物生産工学)	
40	熊谷工業 (土木)	
39	児玉白楊 (電子機械) 進修館 (電気ｼｽﾃﾑ・情報ﾌﾞﾗﾝｸﾞ・ものづくり)	
38	桶川西 (普通) 皆野 (商業系) 児玉白楊 (環境デザイン) 熊谷農業 (生物生産技術)	
37	児玉白楊 (生物資源)	
36	上尾橋 (普通) 児玉 (普通・体育ｺｰｽ)	
35	小栗野 (総合) 妻沼 (普通)	
34		

10/14祝

(越谷コミュニティーホール)

越谷サンシティ

正午12時～16時

新越谷駅東口徒歩3分 ダイエー南越谷店隣

参加校最新情報はHPからご覧下さい。

- | | | |
|------------|---------------|-----------------|
| 県立伊奈学園総合高校 | 足立学園中学・高校 | 順天中学・高校 |
| 県立浦和高校 | 我孫子二階堂高校 | 潤徳女子高校 |
| 県立大宮光陵高校 | 岩倉高校 | 昌平中学・高校 |
| 県立大宮東高校 | 上野学園中学・高校 | 城北埼玉高等学校 |
| 県立春日部女子高校 | 浦和ルーテル学院中学・高校 | 敬台学園中学・高校 |
| 県立春日部東高校 | 浦和学院高校 | 聖徳大学附属女子中学・高校 |
| 県立春日部工業高校 | 浦和実業学園中学・高校 | 星美学園中学・高校 |
| 県立久喜工業高校 | 浦和麗明高校 | 西武台千葉中学・高校 |
| 県立越谷北高校 | 創明高校 | 成立学園中学・高校 |
| 県立越谷東高校 | 江戸川女子中学・高校 | 専修大学松戸中学・高校 |
| 県立越谷総合技術高校 | 大宮開成中学・高校 | 瀧野川女子学園中学・高校 |
| 県立幸手桜高校 | 開智中学・高校 | 中央学院高校 |
| 県立庄和高校 | 開智未来中学・高校 | 武蔵野大学附属千代田高等学校 |
| 県立杉戸農業高校 | 共栄学園中学・高校 | 東京家政大学附属女子中学・高校 |
| 県立草加高校 | 春日部共栄中学・高校 | 東洋大学京北中学・高校 |
| 県立草加東高校 | 玉島島中学・高校 | 東洋女子高等学校 |
| 県立不動岡高校 | 國學院大學栃木中学・高校 | 獨協埼玉中学・高校 |
| 県立松伏高校 | 国際学院中学・高校 | 中村中学・高校 |
| 県立三郷北高校 | 駒込中学・高校 | 二松学舎大学附属柏中学・高校 |
| 県立三郷工業技術高校 | 埼玉栄中学・高校 | 二松学舎大学附属高校 |
| 県立八潮高校 | 栄北高校 | 日本体育大学柏高校 |
| 県立三郷高校 | 佐野日大中学・高校 | 花咲徳栄高校 |
| 県立吉川美南高校 | 修徳中学・高校 | 武南中学・高校 |
| | 淑徳巣鴨中学・高校 | 文京学院大学女子中学・高校 |



細田学園中学・高校
村田女子高等学校
麗澤中学・高校
KTCおおぞら高等学院
武蔵野星城高等学校
東京スクールオブミュージック&ダンス

講演会

大ホールにて
午前11時から12時

講演者

岩佐教育研究所

岩佐桂一先生

受験界のオピニオンリーダー

講演 中学生および保護者対象
埼玉入試の基礎知識

※ 10/14のみの講演です。
午前10時から列をつくります。



10/26土

ふれあいキューブ 春日部

正午12時～16時

春日部駅西口徒歩1分 春日部ららガーデン隣

参加校最新情報はHPからご覧下さい。

- | | | |
|-------------|---------------|--------------------|
| 【県立】 | 県立不動岡高校 | 國學院大學栃木中学・高校 |
| 県立伊奈学園総合高校 | 県立松伏高校 | 国際学院中学・高校 |
| 県立岩槻商業高校 | 県立三郷北高校 | 駒込中学・高校 |
| 県立大宮光陵高校 | 県立三郷工業技術高校 | 埼玉栄中学・高校 |
| 県立大宮東高校 | 県立宮代高校 | 栄北高校 |
| 県立春日部女子高校 | 県立鷲宮高校 | 佐野日大中学・高校 |
| 県立春日部東高校 | | 淑徳巣鴨中学・高校 |
| 県立春日部工業高校 | 【私立】 | 潤徳女子高校 |
| 県立久喜高校 | 我孫子二階堂高校 | 昌平中学・高校 |
| 県立久喜工業高校 | 上野学園中学・高校 | 西武台千葉中学・高校 |
| 県立久喜北陽高校 | 浦和ルーテル学院中学・高校 | 瀧野川女子学園中学・高校 |
| 県立栗橋北彩高校 | 浦和学院高校 | 武蔵野大学附属千代田高等学校 |
| 県立越谷北高校 | 浦和実業学園中学・高校 | 東京家政大学附属女子中学・高校 |
| 県立越谷東高校 | 浦和麗明高校 | 獨協埼玉中学・高校 |
| 県立幸手桜高校 | 創明高校 | 白鴎大学足利高等学校 |
| 県立庄和高校 | 大宮開成中学・高校 | 花咲徳栄高校 |
| 県立白岡高校 | 開智中学・高校 | KTCおおぞら高等学院 |
| 県立杉戸高校 | 開智未来中学・高校 | 東京スクールオブミュージック&ダンス |
| 県立誠和福祉高校 | 共栄学園中学・高校 | |
| 県立蓮田松韻高校 | 春日部共栄中学・高校 | |



県立高校と 私立高校の連携にエール！

当会相談役

元埼玉県立不動岡高等学校校長
元上野学園中学高等学校副校長



長澤智則先生

各高等学校の先生方、本日は中学生・保護者のための中学・高校進学相談会に時間をさいてご参加いただき、ありがとうございます。まずは、県立高校と私立高校が連携してこの会を開催されることにエールをお送りします。

さて、受験生の皆さん、もう志望校は見つかりましたか？

中1・中2の皆さんは将来行きたい学校はどのような高校かイメージができていますか？

本日、この会場には、県立高校と私立高校の先生方が一同に会して、学校の説明や個別相談に応じてくださっています。これは、大変貴重なことで、一つの会場でこれだけ多くの学校が集まる機会にはありません。特に、受験を控えたこの時期に、多くの県立高校や私立高校の先生方から直接学校の説明を聞き、いろいろ質問できることは大事なことです。ぜひ、この絶好のチャンスにひとつでも多くの学校をまわって、自分にあった高校と出会ってください。中1・中2の皆さんは、この会場で目標とする学校を見つけてください。皆さんが学校選択をととして、自らの未来を切り拓いて行ける学校との素晴らしい出会いを心から期待しております。

末文ながら、中学生の進路実現のためにご尽力いただきました諸先生方に、重ねて感謝申し上げます。



予告 来年の入試ファースト

越谷会場 10月10日(土)

春日部会場 10月24日(土)

※ 会場確保の都合で日程が変わる事がありますので、必ずHPでご確認ください。

検索 入試ファースト



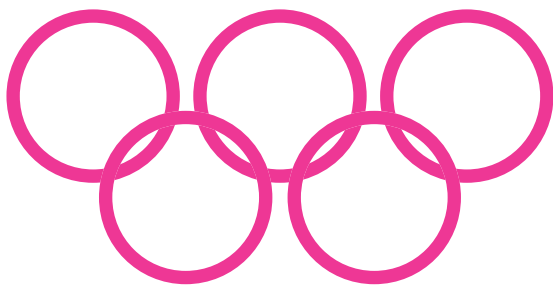
saitamakyouiku.net

S NPO 埼玉教育ネット

東京オリンピック

決定!

開催のため
進学相談会が中止の
状況に対して



7月12日(日)に
浦和会場で、

入試ファースト浦和

令和元年5月

平成31年度 埼玉県公立高校入試の検証と 令和2年度入試動向

岩佐教育研究所 代表 岩佐桂一

入試環境の変化と入試変化

I. 在籍の変化

平成元年から、平成30年度までの中学校3年生の在籍は、11万5584人から、約6万4500人まで減少しています。平成30年度入試での小学校6年生の国・公・私立の中高一貫校への進学者は、在籍の5.8パーセント、約3,300人となっていました。

平成31年3月の中学卒業予定者は、前年5月1日現在の学校基本調査で、63,492人（公立60,358人、国立1,722人、私立2,962人）と、前年の64,459人より約967人減少していました。私立中学校の在籍は、前年より9人増加しています。

また、32年度入試では、今春より約1,080人の減少予定になります。

29年度以降、学年ごとの在席減少が激しくなってきました。

公立高校の全日制の募集定員は、公私間協定比率の65:35にあわせ、策定されますが、31年度入試の全日制の総募集人員は前年より680人減の38,040人でした。定員増が鷺宮1校1学級、定員減が川越、川越女子、蕨、市立浦和など18校18学級ありました。

また、前年では、川口市の統廃合計画によって、県陽3学級、市立川口6学級、川口総合4学級の3校が募集停止となり、川口総合の場所に川口市立(普通科8学級、文理スポーツコース3学級、理数1学級)が開校となっています。さらに、市立大宮西(普通科6学級)が31年度大宮国際中等教育学校に再編されています。これらの結果での競合関係への変化が予想されました。

県の統合再編を伴う一連の再編整備計画は、25年3月で終了しましたが、市立高校の再編は続いています。平成11年時点で162校だった公立高校が139校(全日制128校)になりました。

また、10年後までに再編整備計画として10校程度の削減計画が発表される見込みとなっています。

II. 統廃合計画の完成と新たな再編計画

統合再編を伴う一連の再編整備計画は、25年3月で終了しましたが、平成11年時点で162校だった公立高校が139校(全日制)になっています。

平成30年度に川口市立の3校が統合され、現在の川口総合の場所に新校(川口市立)が開校され、平成31年度には、さいたま市立大宮西に中等教育学校を開校(平成30年に募集停止)されました。

また、5月上旬には今後11年間で、10校から12校を統合再編するという県の方針が発表されています。

III. 中学校の進路指導

中学校長会の方針の変化

埼玉県中学校長会の進路対策特別委員会は、29年7月に県内中学校の平成30年度入試に対する対応などの注意点について、中学校長会で決定しました。

注目される点は、「公的テストに偏差値の記載を認める」と同時に、「会場テストの偏差値などを有効に利用して進路指導を行うこと」が許容されたことです。

進路指導の方針では、①公的テストと入試結果などの集計を学校や地域を超えたものとしてよい。②公的テストの得点や偏差値を進路指導に積極的に使用する。③業者テスト、公的テストなどを活用して進路指導する。等となっています。但し、偏差値を使用した相談は行わないことになっていました。

公的テストの実施

平成19年度から県内の市町村単位、あるいは複数の市町村合同での公立模擬テストの実施が容認され、30年度では全中学校で、年2回から3回実施されました。

また、前述の通知を受けて、個人成績表に5科偏差値を入れた地区が出現しています。

平成30年度では、さいたま市、川口市等14市1町合同テスト、越谷・春日部・三郷・八潮・久喜等一斉、日高・飯能・狭山等4市1町一斉、熊谷、行田・加須等一斉、秩父郡・市一斉、川越、所沢、本庄・児玉地区、深谷、比企地区など全県で市・地域単位の一斉テストが実施されました。

また、公立高校は、中学校ごとに受験生の学力検査の素点を中学校に公表していますので、粗点・合格結果、調査書、偏差値のすべてが、中学校での進路指導材料となっています。

埼玉県 公立高校の入試変化

I. これまでの入試変更点

埼玉の公立では、平成24年度入試から1回入試に変更されました。1回入試にした理由として、県は「中学校での授業時間の確保」と説明しています。

さらに、入試日程も、これまでの前期より2週間遅くなりました。私学の日程は1月22日解禁と変わっていませんので、31年度入試の公立の試験日2月28日は私学と5週間の時差が生じます。

前年12月15日現在の進路希望調査では、公立全日制へ進路希望者の割合は、68.7%でした。29年度の72.8%、30年度71.1%でしたので、突然、公立人気下がったことが分かります。

前年からの国と県の私立高校生に対する助成金の拡大と、今春の受験生が、大学入試改革の2期生だったことから、私学の評価の高まりを感じさせました。

31年度入試の公立全日制的倍率は、出願、確定、受検までが1.16倍、実質は1.18倍でした。前年のすべてが1.19倍だったのと比較すれば、公立高校が、やや広き門になったことが分かります。

一方、私立入試が終了してから公立入試が始まるため、1回募集になってから、不合格者は増加しており、29年度は7,321人、30年度は、6,748人、31年度ではやや減少し、6,398人となっていました。

私学入学者に対する助成の増額が実施されたことと、30年度以降では、大学入試改革の該当学年の入試のため、現役進学に拘り私立志向になることが予想されていました。

31年度公立高校の主な入試変更点は、

1 平成31年度募集人員（対前年度増減状況）

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| (1) 学校数 | 139校 | |
| (2) 募集学級数 | 951学級 | (-17) |
| (3) 募集人員 | 38,040人 | (-680人) |

2 募集人員の増減を行う学校

- | | |
|------------------------|----|
| (1) 平成31年度募集人員増（1校1学級） | 鷺宮 |
| (2) 募集人員減（18校18学級） | |

上尾南、大宮東、川口清陵、川越、川越女子、川越初雁、熊谷商業・情報処理、越谷南、幸手桜、越谷総合技術・電子機械、狭山青陵、新座総合技術・総合ビジネス、蓮田松韻、皆野・商業、寄居城北・総合、蕨

などとなっていました。

県立高校の一連の改革によって、平成18年に800人だった欠員による全日制的2次募集は、29年度では506人、30年度入試では990人、31年度は915人という結果となっていました。

欠員校の増加は、学力低位層の学校選択が最初から、定時制や通信制となっているようで、特に2部・3部制定時制の総合学科高校は、960人募集に733人が出願するという結果でした。

また、単位制や総合学科への移行、二学期制への移行、土曜日平常授業の実施などが、次々実行されてきています。17年に春日部高校で実行された、受益者負担での冷房設備の設置が、既に130校を超えるまでに拡大してきました。また、18年度に大宮・川越女子で実施された隔週土曜日の平常授業実施は、その後、浦和、浦和第一、春日部、春日部女子、熊谷、熊谷女子、所沢、川越、浦和西、越谷北、本庄、松山、松山女子・秩父など17校に拡大されています。

II. 平成31年度 公立高校 入試結果

埼玉県公立高校の31年度入試日程は、次のとおりでした。

2月18日（月）、19日（火）	入学願書、調査書、学習の記録等一覧表等の提出期間
2月21日（木）、22日（金）	志願先変更期間
2月28日（木）	学力検査
3月1日（金）	実技検査、面接
3月5日（火）	追入試
3月8日（金）	入学許可候補者発表

出願の2月18・19日には、埼玉・都内の国立・私学入試は、終了しています。

（出願～志望校変更）

2月19日埼玉県教育局は、平成29年度公立高校の出願状況を発表しました。

日程的にも前年とほとんど変わらないため、例年並みの状況が予想されました。一方、中学校卒業予定者が前年より約1,050人減少するため17学級680人の募集減を行っています。

31年度公立入試は、システマ的には、前年に引き続いており変更はありません。

29年と入試での変更点は、学力検査で、

ア. 理科・社会の検査時間を40分から50分とする。

イ. 数学・英語で一般的な問題と、選択問題を準備する。あらかじめ選択問題で実施する学校は発表する。

⇒旧ナンバスクールを中心に20校で実施 31年度に春日部女子が加わり21校に

なっています。入試システムとしては、

- ① 全日制・定時制とも1回の入試で合否を決定する。定員に満たない学校・学科は、欠員補充を実施。
- ② 選抜は、内申等の持ち点と、5教科500点満点の学力検査の祖点を各校が定めた選抜基準により一定比率を掛けた合計点で行う。
- ④ 各校は、第一次選考、第二次選考で、内申等の比率と学力検査得点の比率を変えることができる。また、第三次選考を実施するケースもある。

などとなります。

発表された全日制課程の応募者は、43,646人で、前年の44,573より、927人減少しました。

前年の12月15日現在の進路希望調査での公立全日制希望者数44,392人の98.2%(前年97.89%)となっていました。12月15日以降に志望校変更した生徒は747人だったこととなります。

定員から転編入枠を差し引いた募集予定数37,640人に対する倍率は、25年度～27年度は、1.19倍、28年度では1.20倍、29年度は1.19倍、30年度・31年度は1.16倍となっていました。

また、普通科の応募者は、33,198人と前年の34,035人より833人減少し、こちらは、1.20倍と、前年を0.01倍下回っていました。

普通科の学校ごとでは、倍率が1.5倍を超えた高校は、市立浦和1.91倍を筆頭に、浦和西1.68倍、川口市立1.56倍、越ヶ谷1.56倍、越ヶ谷南1.56倍、所沢北1.55倍、深谷第一1.51倍、上尾1.50倍など前年の11校から8校に減少しました。

2月25日の志願確定者は、全体で43,586人、普通科は33198人で全体は1.16倍、普通科は、1.19倍でした。2月27日の志願確定は44,503人、普通科は34,010人で1.16倍、普通科は、1.20倍です。

出願者の増減は、普通科-72人、総合学科+11人、専門学科は+1人で、全日制の出願は60人減少し、Ⅱ・Ⅲ部定時制の志願者が17人増加していました。

高倍率校では、市立浦和1.91倍⇒1.71倍、浦和西1.68倍⇒1.65倍、川口市立1.56倍⇒1.55倍、越ヶ谷1.56倍⇒1.49倍、越ヶ谷南1.56倍⇒1.46倍、所沢北1.55倍⇒1.51倍などと、倍率を下げています。

(実受検～合格発表)

2月28日の学力検査受験者は、全日制全体で43,503人、事前取り消しが47人、欠席が36人で倍率は1.16倍、うち普通科は、33,068人、取り消しが31人、当日欠席が27人で倍率は1.19倍となっていました。上位校での事前取り消し、欠席は、浦和5人、大宮1人、浦和第一女子3人、川越2人、熊谷2人、などとなっており、私学の繰上げ合格の影響はほとんどなくなっています。

後期・一般入試状況と1回募集の比較 受験者数は学力検査受験者数

全日制	予定者数	受験者数	合格者数	不合格者	実質競争率
25年度	40,002	47,057	40,143	6,919	1.17
26年度	39,841	47,015	39,769	7,082	1.18
27年度	39,520	46,481	39,478	7,003	1.18
28年度	39,321	46,906	39,346	7,560	1.19
29年度	39,361	46,536	39,215	7,321	1.19
30年度	38,320	44,439	37,698	6,748	1.18
31年度	37,640	43,531	37,133	6,398	1.17

普通科の後期・一般入試状況と1回募集の比較

普通科	予定者数	受験者数	合格者数	不合格者	実質競争率
25年度	29,542	35,561	29,812	5,752	1.19
26年度	29,381	35,394	29,484	5,890	1.20
27年度	29,180	35,239	29,334	5,905	1.20
28年度	29,061	35,648	29,278	6,370	1.22
29年度	29,101	35,267	29,238	6,029	1.21
30年度	28,234	33,962	28,234	5,728	1.21
31年度	27,755	33,089	27,613	5,476	1.20

学力検査実受験者43,503人に対して、合格発表時の実受験者は43,531人で28人の増加がありました。

これは、インフルエンザ等の特例措置にあたります。合格発表では、転編入枠を入れて 408 人の合格超過が出ており、不合格者が 6,398 人となっていました。前年 6,748 人より 350 人減ったものの、不合格者の人数は、6,300 人を超えており、厳しい入試といえます。

参考 公立高校入試平均点の推移 予想点は入試直後の県教育局の予想平均点（目標平均点）

年度	国語		数学		英語		社会		理科		5科	
	平均	予想	平均	予想	平均	予想	平均	予想	平均	予想	平均	予想
平成 20 年度	25.9	25	19.5	20	22.0	22	23.5	22	20.7	21	111.6	110
平成 21 年度	23.2	26	21.2	21	18.7	21	24.4	22	20.1	20	107.6	110
平成 22 年度前期	56.2	55	42.4	50	52.9	55	49.5	55	51.5	55	252.5	270
平成 22 年度後期	59.9	58	47.8	50	54.8	50					162.3	158
平成 23 年度前期	52.7	60	40.4	50	47.4	55	57.5	55	45.2	55	243.2	270
平成 23 年度後期	54.1	60	44.3	50	46.0	55					144.4	165
平成 24 年度	59.7	62	36.5	50	44.1	55	49.0	57	48.7	55	237.9	279
平成 25 年度	65.6	58	42.4	50	53.7	55	50.3	55	63.4	52	275.5	265
平成 26 年度	64.0	59	45.0	50	45.0	50	49.5	55	46.1	55	249.6	269
平成 27 年度	56.0	56	48.1	50	55.6	50	49.1	55	50.3	50	259.1	261
平成 28 年度	57.9	58	51.1	50	57.4	50	63.7	55	39.2	50	269.4	263
平成 29 年度一般	53.3	55	44.4	48	52.0	48	60.6	55	48.5	50	258.8	256
平成 29 年度選択			43.2	60	71.9	65					277.5	285
平成 30 年度一般	52.8	55	44.0	48	55.9	48	55.9	55	51.7	50	260.3	256
平成 30 年度選択			43.7	60	58.9	65					263.0	285

30 年度入試県の予想点は、国語 55 点 数学 48 点（60 点） 英語 48 点（65 点） 社会 55 点 理科 50 点 5 科 256 点（285 点）と発表されています。公立の入試予想平均点は、入試の目標値と考えられるので、5 割 2 分前後を目標値に設定しているようです。記述問題の部分点は、各学校の裁量となっており、厳しく採点した学校とそうでない学校の混在になっている点に注意が必要です。

学力検査問題の出題数等

		国語	社会	数学	数学	理科	英語	英語	合計	合計
				一般	選択		一般	選択	一般	選択
問題数別	大問数	5	6	4	5	5	5	4	25	24
	小問数	24	34	21	20	32	30	31	141	141
	小問・選択肢	9 (37.5%)	16 (47.1%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	17 (53.1%)	15 (50.0%)	17 (54.8%)	58 (41.1%)	59 (41.8%)
	小問・記述	15 (62.5%)	18 (52.9%)	20 (95.2%)	20 (100.0%)	15 (46.9%)	15 (50.0%)	14 (45.2%)	83 (58.9%)	82 (58.2%)
	小問・記:用語、単語	9	11	17	17	8	7	1	52	42
	小問・記:文章表現	6	7	2	2	6	8	13	29	34
	小問・記:作図	0	0	1	1	1	0	0	2	2
配点別	選択肢	33 (33.0%)	38 (38.0%)	4 (4.0%)	0 (0.0%)	48 (48.0%)	42 (42.0%)	47 (47.0%)	165 (33.0%)	166 (33.2%)
	記述	67 (67.0%)	62 (62.0%)	96 (96.0%)	100 (100.0%)	52 (52.0%)	58 (58.0%)	53 (53.0%)	335 (67.0%)	334 (66.8%)

各教科の小問数は、国語が 24⇒24 問で作文を含め、記述式問題が 67⇒67%を占めていました。数学は、一般 22 問で、作図・証明を含め 20 問が記述、選択問題は、20 問で全問記述。英語・一般問題は 30 問で、英作文を含め記述問題が 60⇒58%、選択問題は、31 問中 17 問が記述。社会は、35⇒34 問で、記述式問題が 52.9%、理科は 32⇒32 問で、記述式問題が 46.9%となっており、全体では、一般問題が 141 問中 83 問、61.5⇒58.9%が記述式問題、選択問題では、141 問中 58.2%が記述形式でした。また、配点では、一般 69.4⇒67.0%、選択 66.8%が記述問題の割合であり、記述問題の増減によって、平均点の変化があるようです。(29 年度⇒30 年度)一般問題に対して、29 年度から導入された選択問題では、問題数はやや少ないが、問題の難度は上がっており、前年は、数学で県の予想平均を大幅に下回っていました。

Ⅲ. 平成 31 年度入試 私立高校 入試結果

埼玉県内には、48 校の私立高校があり、うち 31 校が付属中学校を併設しています。

一貫体制で高校募集を行っていないのが、浦和明の星 1 校でした。

中学の総定員はおよそ 3,900 名、高校は 18,000 名で、高校の外部募集定員は、約 14,000 人ということになり、公私間協定の進学希望者の 35%に達していません。このため、県外の公・私立高校に約 8%、約 6,000 人の生徒を依存しているのが現状です。

30 年度入試に向けての主な変更点

■ 学科・コースを変更する学校

- 浦和麗明（さいたま市）→前年より共学化。進学、保育進学を募集停止。特選Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類と特進Ⅰ・Ⅱ類の 2 コース 5 類型に再編。
- 狭山ヶ丘（入間市）→Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類から国立・難関・特進・総進の 4 コース制に再編。
- 東野（入間市）→特進Ⅰクラス新設。特進 α ・ β ・進学の 3 コースから特進Ⅰ・S・進学 A コースに再編。
- 星野・共学部（川越市）→S 類を S 類特進選抜に改編。女子部（川越市）→国際教養を募集停止。文理英語をⅠ類、文理英語・英語特進をⅡ類選抜に再編。
- 大妻嵐山（比企郡）→スーパーアドバンス S S・スーパーアドバンス・大妻グローバルの 3 コースに再編。
- 本庄第一（本庄市）→S 特進・特進・進学 α ・ β の 4 コースから S 類・AⅠ類・AⅡ類の 3 コース制に再編。
- 昌平（北葛飾郡）→Ⅰ B コース新設。標準進学コースを選抜進学コースに改編。

■ その他

- 浦和ルーテル学院（さいたま市）31 年度から青山学院大学の系属校となる。

声の教育社がまとめた平成 31 年度県内私立高校の入試状況(1 月末日現在)では、

単願・併願計で、応募数を大きく増やした学校は、東京農大第三(単 189 人⇒338 人、併 655 人⇒841 人)、東野(単 225 人⇒307 人、併 1,071 人⇒1,502 人)、浦和実業(単 379 人⇒438 人、併 3,188 人⇒3,486 人)、栄北(単 157 人⇒208 人、併 1,065 人⇒1,253 人)、東京成徳深谷(単 236 人⇒261 人、併 1,153 人⇒1,326 人)、細田学園(単 203 人⇒252 人、併 990 人⇒1,201 人)、武南(単 184 人⇒210 人、併 1,655 人⇒1,849 人)などとなっていました。

大きく減少したのは、秀明英光(単 314 人⇒193 人、併 2,627 人⇒1,893 人)、浦和学院(単 514 人⇒373 人、併 3,137 人⇒2,507 人)、浦和麗明(単 300 人⇒179 人、併 1,245 人⇒666 人)、西武台(単 235 人⇒225 人、併 1,580 人⇒1,036 人)、星野(単 483 人⇒341 人、併 1,540 人⇒973 人)、などとなっています。尚、内部進学者は含みません。

前年同日対比で単+併の前年との差。2 月 1 日以降の入試、及び一部の学校については推定)。

東京農大第三の増加、浦和学院、浦和麗明の減少は、それぞれコース・学系変更の影響と見られます。

また、中学校の定員の増減や、学校方針により募集の引き締め等を図ったと見られるケースもあり、数値は必ずしも人気動向ではないことに注意が必要です。

大学入試の改革や、学習指導要領改訂に向けた積極的な対策を掲げる学校も増加し、県内私立への希望者は着実に増加しているようです。

埼玉の私学への学費助成の拡大、それに伴う他の都県進学者への非支給なども、県内私学には追い風となっています。

また、受験生総数に対し、それぞれの占める割合は、単願が約 15%、併願を認める 1 月入試 79%、一般 6%となっていました。

年度	学則定員	応募者	入学者
平成 25 年度	17,640	約 70,800	約 18,400
平成 26 年度	17,640	約 69,200	約 18,660
平成 27 年度	17,600	約 69,500	約 18,830
平成 28 年度	17,715	約 68,500	約 18,970
平成 29 年度	17,875	約 68,600	約 18,960
平成 30 年度	17,875	約 68,300	約 18,800
平成 31 年度	17,875	約 65,200	約 18,500

各高校の出願数変動の背景には、

- ・ 内部進学者の減少傾向(在籍の減少、約 2700 人内部進学、ただし在籍は 2,962 人)。

- ・ 公立の無償化の限度額設定に対する変化。

- ・ 入学金や学費だけでなく、修学旅行積立金やスクールバス費用を含めた費用。

- ・ 都内生 B 推薦禁止から、都立推薦出願前に併願を求める都内からの流入

などの要因が考えられます。

中間状況で推計ですが、県内私学の応募者総数は約 65,200 人(昨年度約 68,300 人、昨年度比 95.5%)に

対し単願・推薦～約 9,930 人(昨年度 10,050 人、昨年度比 98.8%)、前期 1 月併願～約 51,800 人(昨年

度約 54,000 人、昨年度比 95.9%)、一般～約 6,800 (昨年度同月約 6,700 人、昨年度比 100.1%) となっていました。2 月入試には、慶応志木 1,518 人、早稲田本庄 3,397 人、立教新座 880 人が含まれますので、それ以外は、およそ 500 人になります。

また、受験生総数に対し、それぞれの占める割合は、単願が約 15%、併願を認める 1 月入試 79%、一般 6%となっていました。埼玉では、1 月に私立高校受験をすること、併願で、合格通知をもらって公立高校へ出願することが、受験生の定番となっています。

令和 2 年度高校入試の動向

I. 31 年度入試の検証

埼玉県が公立入試で目指していることは、

1. 推薦入試以来あいまいになった入試の価値観の再構築－全員に学力検査を課す
2. 日程の長期化・早期化を正す
3. 指導要領改訂に伴う、中・高の授業時間の確保
4. 中学校の進路指導の充実
5. 中学校の教科指導に対する目標の設定
などと考えられます。

特に、入試問題の難化は急激で、31 年度では、記述問題の割合は一般問題 61.4%、選択問題 61.4%とやや減少し、配点ベースでも一般 69.4%、選択 69.8%となりました。社会・理科の問題数は、増加し、記述問題も、論述問題の難度は上がっているようです。

また、社会、理科などで記述問題の量を増やし、各教科で、思い切った記述方式を採用していました。社会の選択肢の問題でも、択一ではなく、「あてはまるものをすべて」という出題が散見されました。記述問題は、大別して記述と論述に分けられます。論述問題の増加が埼玉公立入試問題の特徴といえます。

学校選択問題 採用校

浦和 浦和第一女子 浦和西 市立浦和 大宮 蕨 川口北 川越 川越女子 川越南 所沢
所沢北 和光国際 熊谷 熊谷女子 熊谷西 不動岡 越ヶ谷 越谷北 春日部 春日部女子

II 私立高校の募集政策

平成 31 年度入試へ向けての県内私立高校の「入試の申し合わせ」は、前年の 2 月に決定しました。埼玉県では、22 年度から、1 月 22 日の解禁日のみとして、入試解禁日の一本化に踏み切っています。

埼玉県内私立高校への、応募者は、1 月日程だけでおおよそ総数の 92%を占めており、後期募集は、既に欠員補充の意味合いしかなくなっています。

III 埼玉県独自の父母負担軽減事業決定

埼玉県では、29 年 4 月から、県内生が県内私立高校へ入学した場合に限る支援金を増額しました。

国ベースの就学支援金として、世帯年収 910 万円の限度額を設定、未満の場合、年額 11 万 8800 円を国庫から支援することが決まっており、さらに、私立高校の支援金について、年収 910 万円未満の世帯には 11 万 8800 円、さらに 350 万円～590 万円は、178,200 円、250 万円～350 万円は 237,600 円、250 万円未満は、297,000 円を支給することになっています。

埼玉県は、保護者への直接補助を行っており、29 年度からは、世帯年収 609 万円未満は、国と併せ授業料 37 万 5 千円、さらに、入学金補助 10 万円を支給、500 万未満は、さらに施設費等として 20 万円を支給することになっています。

◆ 31 年度 埼玉県の就学支援金制度(国庫支給額に対する上乘せ分)

- ・対象を私立(全日制・県認可の通信制・3 年制高等専修学校)
- ・県内生、県内学校在籍者のみ
- 以下県内私立高校(全日制)
 - ・家計急変世帯、生活保護家庭は、授業料全額から国家就学支援金の差額+その他全額
 - ・年収 609 万円未満 国と併せ授業料年額 375,000 円+入学金支援 10 万円
 - ・年収 500 万円未満 授業料年額 375,000 円+入学金支援 10 万円 + 施設費等 20 万円

この結果、県内の公私間の学費格差は、大幅に改善され、保護者の年間所得によって私学への進学を断念するケースは少なくなっていると考えられます。しかし、一方では、他県へ進学した生徒が対象から外れるなど、本来あってはならない都道府県による支援金による差は、大幅に拡大しています。

ただし、県内の生徒が都内近県に入学した場合は、今回の支援金の対象とならず、国からの支援金のみが支給対象となるからであり、保護者の年収の把握は、4月入学時点では、前々年のものになるという矛盾があります。30年度の父母負担軽減事業の県内私学での受給者は、約36%でした。

IV 令和2年度の入試の動向

1 倍率に変化なし

31年度公立全日制の入試は、出願時点で1.16倍、志望校変更は、60人の出願辞退で1.16倍、受験日までに事前取消と当日欠席が83人出ましたが、受検倍率は、1.16倍となりました。

また、合格発表では、転編入枠と各クラス1名程度の408人の増員の合格が出ましたが、実質倍率は、1.17倍になりました。更に欠員補充が915人となっています。

受験時点の志願者が合格発表時点で28人増加していました。これは、当日欠席の事由により学校長の裁量により、受験資格を認められるということです。

不合格者は、6,398人で前年より、350人減少しました。

繰り返しますが、23年の前期・後期制の倍率の下では、後期で4,263人しか落ちなかったのですが、25年度からは6,919人、26年度は7,082人、27年度は7,003人、28年度は7,569人となっていました。

30年度では、6,748人、31年度は、6,398人が不合格になっています。

不合格者が多いほど、公立志向が高いということになりますし、併願で私学に入学する生徒が多いということになります。

2 日程の変化がもたらしたもの

令和2年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の日程(全日制)

令和2年	
2月17日(月)、18日(火)	入学願書、調査書、学習の記録等一覧表等の提出期間
2月20日(木)、21日(金)	志願先変更期間
2月28日(金)	学力検査
3月2日(月)	実技検査(芸術系学科等)、面接(一部の学校)
3月4日(水)	追検査
3月9日(月)	入学許可候補者発表
※ 欠員補充の日程及び内容については、実施する高等学校において定める。	

県内私立高校は、令和2年度も1月22日の入試解禁日の継続を申し合わせています。また、隣接都県の日程も継続される見込みです。

単または併願で私立高校入試を受けてから、公立受験まで約5週間の間隔があき、私立単願の生徒は、入学先が決まってから、受験勉強をする友人を横目に自適の毎日を過ごすことになります。

出願が2月中旬以降になったことで、私学の結果を見てから公立の志望校を決められるようになっていきます。また、中学校で公的テストと内申点、入試点の蓄積が進んだことで、2者面談や3者面談でこれまで姿を消していた『志望校に対しての断定』や『判定会議』が復活し、結果として、より安全な志望校の確定を行わせるという傾向が出現しています。

今後、地域によっては3回行われていた公的テストと内申対策が、受験へのカギとなると思われます。

3. 令和2年度入試は31年度と変わらないが…

令和2年度入試では、県内国・公・私立中学生は、前年より1,080人ほど少なくなっています。

公立の中学3年生は、およそ59,200人で、こちらも前年より1,150人減少しています。

選択問題実施校と一般問題実施校、それぞれの狭間で志望校を悩む受験生、ゆらぎはあることと思いますが、学力の本質から、どちらを受験する生徒にも学ぶ内容は均一であってほしいものです。

26年12月に、中教審が「高校・大学教育改革と大学入試の一体改革」を答申しました。

「高校生のための学びの基礎テスト」と「大学入学共通テスト」からなる入試改革だけでなく、英語の検定を資料とする検討が進み、大学のアドミッションポリシーの明確化などへの法令改正、初等中等教育に対する学習指導要領の改訂等の大きな変化が、3年後に向けて次々と打ち出されていきます。

今年の中学3年生は、大学入試改革3期生となり、高等学校の学習指導要領が大きく改訂されてくる学年になります。新たな大学入試に挑戦する学年、志望校の選択も、状況を見据え、数年先の変化に対応できる学校を見つけていただければと思います。

(文責 岩佐教育研究所 岩佐 桂一)